

産業サイバーセキュリティ研究会 WG1（制度・技術・標準化）工場 SWG（第 4 回）議事要旨

日時 : 令和 4 年 11 月 1 日（火）16 時 30 分～18 時 00 分

構成員 :

（座長）江崎 浩	東京大学大学院 情報理工学系研究科教授
市岡 裕嗣	三菱電機株式会社名古屋製作所ソフトウェアシステム部部長
岩崎 章彦	一般社団法人電子情報技術産業協会 セキュリティ専任部長
榎本 健男	一般社団法人日本工作機械工業会 技術委員会標準化部会電気・安全規格専門委員会委員 （三菱電機株式会社名古屋製作所ドライブシステム部 専任）
桑田 雅彦	日本電気株式会社 デジタルネットワーク事業部門 兼 テクノロジーサービス部門 サイバーセキュリティ事業統括部 シニアプロフェッショナル（サイバーセキュリティ） （Edgecross・GUTP 合同工場セキュリティ WG リーダー）
斉田 浩一	ファナック株式会社 IT 本部情報システム部五課 課長
佐々木 弘志	フォーティネットジャパン合同会社 OT ビジネス開発部 部長 （IPA ICSCoE 専門委員）
斯波 万恵	株式会社東芝 サイバーセキュリティ技術センター 参事 （ロボット革命イニシアティブ（RRI）産業セキュリティ AG）
高橋 弘幸	トレンドマイクロ株式会社 OT セキュリティ事業部 OT プロダクトマネジメントグループ シニアマネージャー
中野 利彦	株式会社日立製作所 制御プラットフォーム統括本部 大みか事業所 セキュリティエバンジェリスト
藤原 剛	ビー・ユー・ジーDMG 森精機株式会社 制御開発本部コネクティビティー部 副部長 （代理：菅野 靖洋）
松原 豊	名古屋大学大学院 情報学研究科准教授
村瀬 一郎	技術研究組合制御システムセキュリティセンター 事務局長
渡辺 研司	名古屋工業大学大学院 社会工学専攻教授

議題：

1. 開会
2. 「工場システムにおけるサイバー・フィジカル・セキュリティ対策ガイドライン（案）」に対する意見募集で頂いたご意見への対応について
3. 工場セキュリティに関する動向について
4. デジタル臨時行政調査会における取組みについて
5. 制御セキュリティ関係の最近の動向及び「工場セキュリティガイドライン」の普及啓発について
6. 自由討議
7. 閉会

要旨：

1. 「工場システムにおけるサイバー・フィジカル・セキュリティ対策ガイドライン（案）」に対する意見募集で頂いたご意見への対応について
 - ・ 資料 3 を事務局より説明
2. 工場セキュリティに関する動向について
 - ・ 資料 4 を高橋委員・今野様（TXOne）、資料 5 を佐々木委員より説明
3. デジタル臨時行政調査会における取組みについて
 - ・ 資料 6 をデジタル臨時行政調査会事務局より説明
4. 制御セキュリティ関係の最近の動向及び「工場セキュリティガイドライン」の普及啓発について
 - ・ 資料 7 を事務局より説明
5. 自由討議
 - (1) 普及啓発に関するご意見

- ・ 本ガイドラインは重要インフラに係るような工場といった特にインパクトが大きいところから普及させていくとよい。
- ・ 工場におけるセキュリティ対策は、投資の判断が必要なため経営層を積極的に巻き込んで行うべきである。
- ・ 本ガイドラインを読み対策まで取り組んでもらえるよう、付録のチェックリストを簡易チェックリストとしてご提示いただき、工場セキュリティの担当者が手を動かせるところから活用できるような形で公表できるとよい。
- ・ 工場のセキュリティ対策においては、工場の製造装置自体のセキュリティ対策も推進する必要がある。製造装置のメーカーの方々に対しても普及啓発を進めていけるとよい。
- ・ 半導体の SEMI 規格と本ガイドラインは整合性が取られているのか。
 - SEMI の規格については半導体の業界団体の中で策定されたものであるため、現時点では、経済産業省のガイドラインとは未連携だが、今後、情報が整理できたら共有したい。
- ・ 製品ごとに国際規格・国際法規が整理されている分野とそうではない分野がある。セキュリティの規格動向や国際規格について分野毎に取りまとめることが必要ではないか。また、海外の工場におけるセキュリティについて、部品の調達要件や工場誘致の際に満たすべきガイドラインの動向を把握できると、今回のガイドラインの重要性をより分かりやすく示せると思う。
- ・ 本ガイドラインはユースケースとして利用できる一方で、業界によって制約や要件が異なっており、業界ごとの特徴を整理すると良い。

（２）ガイドラインの承認

- ・ ガイドラインについては江崎座長と相談の上、速やかに公表する。
 - （一同承認）

（以上）